

平成29年度「麻生区市民提案型協働事業」選定事業一覧

	事業名（団体名）	概要	選定にあたっての事業評価	契約額	所管課
1	第2期・超高齢団地の“支え合い” 立ち上げ事業【継続】 （白山1丁目・ちょっと支援隊）	超高齢化が進んだ団地で、新たにコミュニティカフェを定期開催し、顔の見える関係を目指し、住民のコミュニティ活動やボランティア活動を活性化させる。また、公的サービスと併用するボランティア型生活支援を開始し支援を展開する。	マンション管理組合との連携を密にとって住民同士の自助・互助の意識を高め、住民型生活支援を実施する本事業の取り組みは、住民主体の支え合いの先駆事例になることが期待できる。	570,000	地域支援担当
2	伝承遊びで街おこし ～和風つくりと風揚げ大会～【継続】 （あさお和風の会）	和風つくりと風揚げ大会を通じて地域住民の世代間交流を促進するとともに、地域と学校との連携を図る。和風つくり指導者となる人材を区内全域から公募し、養成講座を開催する。	和風つくりを通じて、世代間交流の促進、高齢者の健康増進、習字・絵画などの作品発表の場としての活用等を行っていくことで、町内会・自治会の基盤が強化されることが期待できる。	217,000	地域振興課
3	未来につなぐ資源循環【新規】 （かわさきかえるプロジェクト）	これまで培ってきた麻生区独自の地域資源循環モデルのプログラム化・教材を作成し、教育現場や市民向け講座で活用することにより、市民の環境意識の向上を図る。	環境への負荷を減らし、持続可能な社会を目指していくためには、区民に身近な資源循環を知ってもらう、そして、参加してもらうということが必要であり、これまで培ってきた麻生区独自の資源循環モデルのプログラム化、教材の作成、教育の現場での活用は、必要性が高いと考えられる。	542,700	企画課
4	地域の茶の間・ゆりっぴい広場で多世代交流【新規】 （ゆりっぴい広場）	核家族・高齢者・一人暮らしの住民が増える中、セーフティネットを作る取り組みが必要であり、公共施設である、いこいの家を利用した食文化による多世代交流の企画を展開することにより、支え合いのつながりを作る。	麻生区の地域包括ケアシステム推進において、地域における自助・互助の取組や顔の見える関係づくりが求められており、提案されている事業の実施を通じて、地域住民の交流や多世代交流の促進のきっかけとなることが期待できる。	244,404	地域ケア推進担当
			合計	1,574,104	